

平成25年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年9月11日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク 上場取引所 大
 コード番号 7614 URL http://www.om2.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一 TEL 03 (5405) 9541
 四半期報告書提出予定日 平成24年9月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第2四半期の連結業績（平成24年2月1日～平成24年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第2四半期	16,415	9.4	631	100.0	731	86.7	352	314.6
24年1月期第2四半期	15,009	5.0	315	305.9	391	147.2	84	80.1

(注) 包括利益 25年1月期第2四半期 354百万円 (-%) 24年1月期第2四半期 Δ1百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第2四半期	51.66	—
24年1月期第2四半期	12.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第2四半期	13,248	7,159	54.0	1,050.36
24年1月期	12,898	6,940	53.8	1,018.30

(参考) 自己資本 25年1月期第2四半期 7,159百万円 24年1月期 6,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年1月期	—	0.00	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想（平成24年2月1日～平成25年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	10.2	1,190	59.3	1,350	50.8	630	172.3	92.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年1月期2Q	7,335,634株	24年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	25年1月期2Q	519,451株	24年1月期	519,451株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年1月期2Q	6,816,183株	24年1月期2Q	6,816,183株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から持ち直しつつあるものの、欧州債務危機に伴う海外経済の減速や円高の長期化、電力供給に対する懸念など、先行きが不透明な状態が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売及び外食業界におきましても、昨年の混乱期からの回復は見られるものの、全般的経済情勢を反映した個人消費の低迷が今なお続き、お客様の節約・低価格志向の定着やそれに伴う企業間価格競争の激化、また外食の低価格化など食市場の競争は一段と厳しさを増しています。

このような中で当社グループは、小売部門にあつては新規ディベロッパーとの取り組みによる新規出店や既存店活性化、外食部門にあつてはグループ経営強化として昨年12月買収のステーキレストランチェーン事業の確実な業務移管と競争力向上のための施策、さらには加工事業における新規顧客開拓等に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は164億15百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は6億31百万円（同100.0%増）、経常利益は7億31百万円（同86.7%増）、四半期純利益は3億52百万円（同314.6%増）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

「食肉等の小売業」

当第2四半期連結累計期間中の開店は9店、閉店は7店であり、その結果、当第2四半期末の店舗数は149店になりました。内訳は食肉小売店121店（前期末比3店増）、惣菜小売店28店（前期末比1店減）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、不採算店の積極的な閉鎖、既存店活性化とともに新規ディベロッパーとの取り組みによる新規出店等を進めた結果、売上高は101億57百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は競合店出現等の影響もあり4億61百万円（同5.7%減）となりました。

「食肉等の製造・加工業」

主力のハム・ソーセージ部門において新規深耕開拓が進み、売上高は30億10百万円（前年同期比2.8%増）となりました。営業利益は歩留まり改善や経費削減効果があり1億83百万円（同79.1%増）となりました。

「外食業」

当第2四半期連結累計期間中の開店閉店はそれぞれ3店あり、その結果、当第2四半期末の店舗数は60店になりました。売上高につきましては、㈱焼肉の牛太における新規店舗の好調に加え、当期よりグループ参入の㈱オーエムツーダイニングの取込により、35億43百万円（前年同期比60.3%増）と前年比大幅な増加となりました。営業利益につきましても、東日本エリアの店舗損益の回復とオーエムツーダイニングの参入、さらにはのれんの償却が50百万円に軽減された結果、1億41百万円（前年同期は91百万円の営業損失）と大きく伸びております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結累計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	80億31百万円（前期末比+5.8%）
固定資産	52億17百万円（同△1.7%）
総資産	132億48百万円（同+2.7%）
流動負債	44億95百万円（同+4.4%）
固定負債	15億93百万円（同△3.5%）
純資産	71億59百万円（同+3.1%）
負債・純資産合計	132億48百万円（同+2.7%）

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて2億8百万円減少し、42億99百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は8億68百万円(前年同期は9億70百万円の獲得)となりました。これは、法人税等の支払3億32百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益6億59百万円、有形・無形の減価償却費3億36百万円が寄与したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は7億53百万円(前年同期は2億13百万円の使用)となりました。これは、定期預金の預入による支出5億円、有形固定資産の取得による支出が1億76百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果減少した資金は3億23百万円(前年同期は3億20百万円の減少)となりました。これは、借入金の純減額1億85百万円及び配当金の支払1億35百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の一般経済情勢は上期同様厳しくかつ不透明な状況が続くものと予想されます。当社グループは今までに実行した施策の継続実施や一層の経営効率化を図るとともに、積極的な新店開発等に注力し、収益確保に努めてまいります。

平成25年1月期の通期業績予想につきましては、平成24年9月3日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しました通りであり、連結売上高335億円、連結営業利益11億90百万円、連結経常利益13億50百万円、連結当期純利益6億30百万円を見込んでおります。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)に基づき、当第2四半期連結累計期間の「貸倒引当金戻入額」は、「営業外収益」に計上しておりますが、前第2四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,807,175	5,099,123
受取手形及び売掛金	799,834	815,749
テナント未収入金	986,666	978,477
商品及び製品	497,244	504,447
仕掛品	9,165	9,338
原材料及び貯蔵品	170,104	233,643
繰延税金資産	89,877	96,858
未収入金	141,345	191,200
その他	107,735	123,363
貸倒引当金	△18,060	△20,811
流動資産合計	7,591,088	8,031,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,021,395	3,995,648
減価償却累計額	△2,252,026	△2,310,718
建物及び構築物（純額）	1,769,369	1,684,930
機械装置及び運搬具	1,872,912	1,690,102
減価償却累計額	△1,627,652	△1,435,615
機械装置及び運搬具（純額）	245,259	254,486
土地	769,700	749,186
その他	1,201,763	1,270,611
減価償却累計額	△829,007	△907,319
その他（純額）	372,755	363,291
減損損失累計額	△411,419	△352,068
有形固定資産合計	2,745,664	2,699,826
無形固定資産		
のれん	83,640	32,737
その他	167,782	160,854
無形固定資産合計	251,423	193,591
投資その他の資産		
投資有価証券	107,847	123,325
長期貸付金	17,854	15,648
繰延税金資産	238,679	225,649
敷金及び保証金	1,488,854	1,469,923
投資不動産	336,615	385,370
減価償却累計額	△16,971	△25,808
投資不動産（純額）	319,644	359,561
その他	173,860	151,413
貸倒引当金	△36,729	△21,422
投資その他の資産合計	2,310,011	2,324,099
固定資産合計	5,307,098	5,217,517
資産合計	12,898,187	13,248,907

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,020,074	2,104,921
短期借入金	654,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	401,352	430,388
未払金	346,473	499,319
未払法人税等	330,246	287,428
賞与引当金	103,576	136,279
その他	449,657	537,526
流動負債合計	4,305,380	4,495,864
固定負債		
長期借入金	1,068,401	1,008,037
長期未払金	11,731	5,049
退職給付引当金	240,795	240,581
役員退職慰労引当金	65,972	69,053
資産除去債務	179,463	187,663
その他	85,490	83,188
固定負債合計	1,651,853	1,593,573
負債合計	5,957,234	6,089,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,064,000	1,064,000
利益剰余金	5,877,227	6,093,006
自己株式	△476,077	△476,077
株主資本合計	6,931,849	7,147,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,103	11,840
その他の包括利益累計額合計	9,103	11,840
純資産合計	6,940,952	7,159,469
負債純資産合計	12,898,187	13,248,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
売上高	15,009,028	16,415,953
売上原価	10,012,770	10,202,154
売上総利益	4,996,258	6,213,798
販売費及び一般管理費	4,680,691	5,582,761
営業利益	315,566	631,037
営業外収益		
受取利息	1,167	1,322
受取配当金	1,154	1,112
持分法による投資利益	—	6,820
受取賃貸料	40,318	58,630
協賛金収入	28,682	29,931
受取手数料	12,057	6,783
貸倒引当金戻入額	—	15,307
その他	21,787	22,322
営業外収益合計	105,167	142,231
営業外費用		
支払利息	9,833	10,981
持分法による投資損失	245	—
不動産賃貸原価	15,341	29,465
その他	3,337	1,170
営業外費用合計	28,757	41,617
経常利益	391,976	731,651
特別利益		
有形固定資産売却益	26,554	—
貸倒引当金戻入額	5,594	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	9,181	—
特別利益合計	41,330	—
特別損失		
有形固定資産売却損	—	46
有形固定資産除却損	168	26,243
投資有価証券評価損	3,390	—
減損損失	29,120	32,857
店舗閉鎖損失	23,992	13,425
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	75,181	—
その他	6,493	—
特別損失合計	138,346	72,572
税金等調整前四半期純利益	294,960	659,078
法人税、住民税及び事業税	178,751	297,520
法人税等調整額	31,288	9,455
法人税等合計	210,040	306,975
少数株主損益調整前四半期純利益	84,920	352,103
四半期純利益	84,920	352,103

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	84,920	352,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86,648	2,737
その他の包括利益合計	△86,648	2,737
四半期包括利益	△1,727	354,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,727	354,840

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	294,960	659,078
減価償却費	208,170	285,337
減損損失	29,120	32,857
のれん償却額	142,028	50,918
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,939	△12,556
受取利息及び受取配当金	△2,321	△2,435
支払利息	9,833	10,981
持分法による投資損益(△は益)	245	△6,820
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,848	△213
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,622	32,703
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7,054	3,080
有形固定資産売却損益(△は益)	△26,554	46
有形固定資産除却損	168	26,243
投資有価証券評価損益(△は益)	3,390	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	75,181	—
その他の特別損益(△は益)	214	—
店舗閉鎖損失	22,420	3,976
受取保険金	—	△6,194
売上債権の増減額(△は増加)	△187,480	△7,725
たな卸資産の増減額(△は増加)	55,066	△70,915
仕入債務の増減額(△は減少)	124,969	84,847
資産除去債務履行差額	—	△6,260
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,078	△36,374
その他の流動負債の増減額(△は減少)	174,168	169,614
小計	946,135	1,210,188
利息及び配当金の受取額	2,321	2,435
利息の支払額	△9,833	△10,981
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	32,315	△332,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	970,939	868,699
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△218,343	△176,473
有形固定資産の売却による収入	63,000	114
無形固定資産の取得による支出	△2,088	△1,919
投資有価証券の取得による支出	△2,016	△2,417
保険積立金の解約による収入	—	15,556
資産除去債務の履行による支出	—	△3,150
敷金及び保証金の差入による支出	△37,417	△62,187
敷金及び保証金の回収による収入	35,477	49,303
その他の支出	△52,461	△81,286
その他の収入	800	9,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213,048	△753,220

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△35,000	△154,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△148,342	△231,328
配当金の支払額	△136,160	△135,913
その他	△577	△2,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	△320,079	△323,530
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	437,811	△208,052
現金及び現金同等物の期首残高	3,677,266	4,507,175
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,115,078	4,299,123

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年2月1日 至平成23年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,112,732	2,702,168	2,194,126	15,009,028	—	15,009,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,945	227,717	16,611	283,274	△283,274	—
計	10,151,677	2,929,886	2,210,738	15,292,302	△283,274	15,009,028
セグメント利益又は損失(△)	488,894	102,646	△91,411	500,130	△184,563	315,566

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△184,563千円は、セグメント間取引消去△38,582千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△145,980千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成23年2月1日 至平成23年7月31日）

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、前第2四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、それぞれ28,567千円、552千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、前第2四半期連結累計期間において29,120千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年2月1日 至平成24年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,142,272	2,745,306	3,528,374	16,415,953	—	16,415,953
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,748	265,291	15,266	295,306	△295,306	—
計	10,157,021	3,010,598	3,543,641	16,711,260	△295,306	16,415,953
セグメント利益	461,025	183,886	141,793	786,705	△155,668	631,037

(注) 1. セグメント利益の調整額△155,668千円は、セグメント間取引消去△13,697千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△141,971千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成24年2月1日 至平成24年7月31日）

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第2四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、それぞれ30,838千円、2,018千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において32,857千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。